

第2期鶴岡市地域コミュニティ推進計画の評価に係る

「ふり返しシート」調査報告書

目 次

■調査の実施		1
■調査結果		1
共通指標		2
鶴岡地域	単位自治組織	8
//	広域コミュニティ組織	15
藤島地域	単位自治組織	21
//	広域コミュニティ組織	25
羽黒地域	単位自治組織	29
//	広域コミュニティ組織	34
櫛引地域	単位自治組織	37
朝日地域	単位自治組織	40
//	広域コミュニティ組織	44
温海地域	単位自治組織	47
<参考> 「ふり返しシート」調査票（鶴岡地域単位自治組織の場合）		53

■調査の実施

第2期鶴岡市地域コミュニティ推進計画の地域課題に基づき、住民主体によるまちづくり活動の現状を評価・検証するとともに、今後のまちづくりの在り方や方向性を探るために、「ふり返しシート」の作成を依頼しました。

- ①調査対象 単位自治組織 463 組織、広域コミュニティ組織 33 組織の長
- ②調査時期 令和3年11月以降に配付。提出期限は令和4年4月下旬
- ③調査方法 郵送配付。回収は、市役所またはコミュニティセンターにお持ちいただくほか、メールなど
- ④回収状況 次のとおり

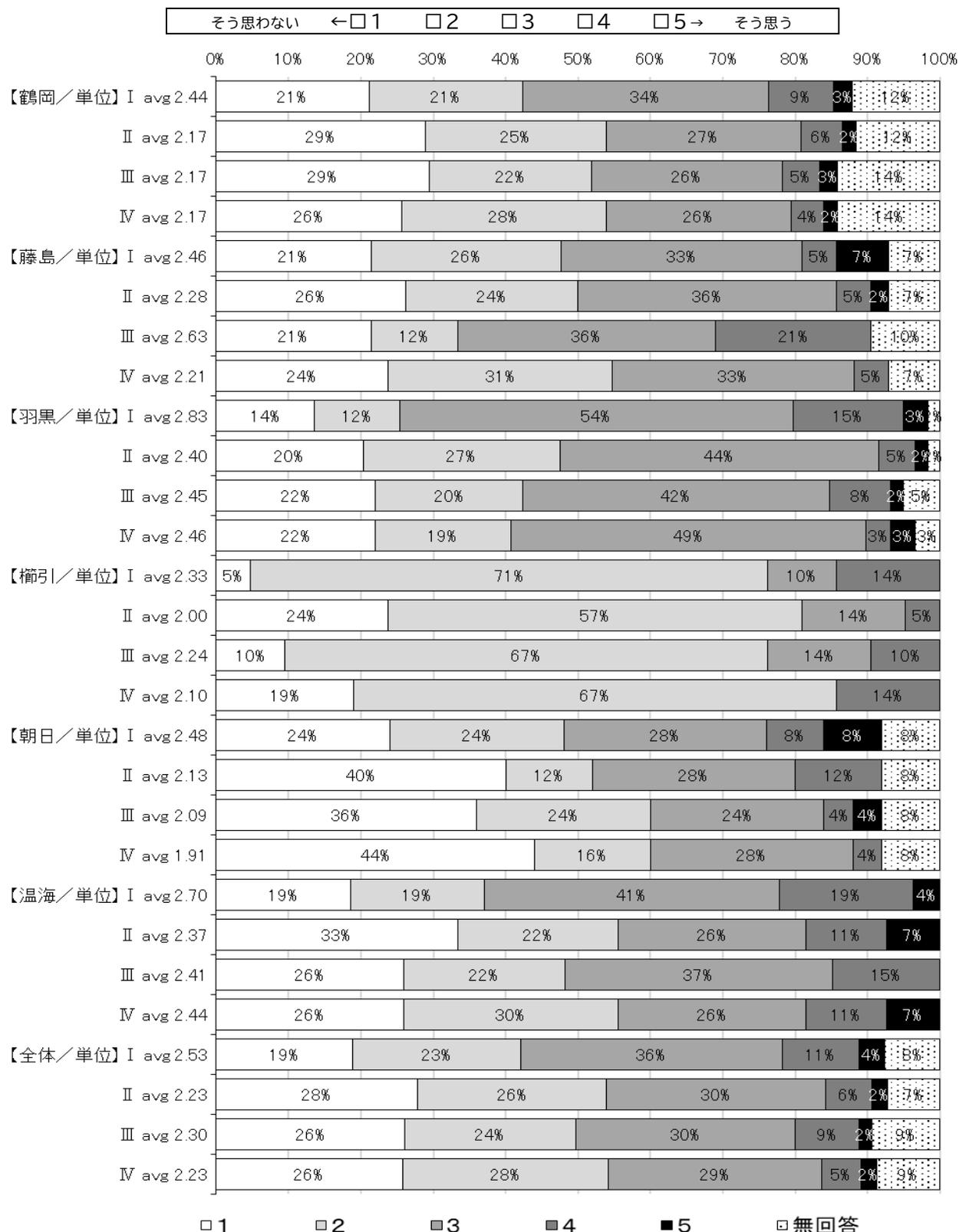
		調査対象数	回答数	有効回答数	有効割合
鶴岡	単位自治組織	247	155	155	62.8%
	広域コミュニティ組織	21	21	21	100.0%
藤島	単位自治組織	61	42	42	68.9%
	広域コミュニティ組織	5	5	5	100.0%
羽黒	単位自治組織	69	59	59	85.5%
	広域コミュニティ組織	4	4	4	100.0%
櫛引	単位自治組織	21	21	21	100.0%
朝日	単位自治組織	38	25	25	65.8%
	広域コミュニティ組織	3	3	3	100.0%
温海	単位自治組織	27	27	27	100.0%
合計	単位自治組織	463	329	329	71.1%
	広域コミュニティ組織	33	33	33	100.0%

■調査結果

共通指標、地域課題（地域別、単位自治組織・広域コミュニティ組織別）の順に次ページ以降に示します。

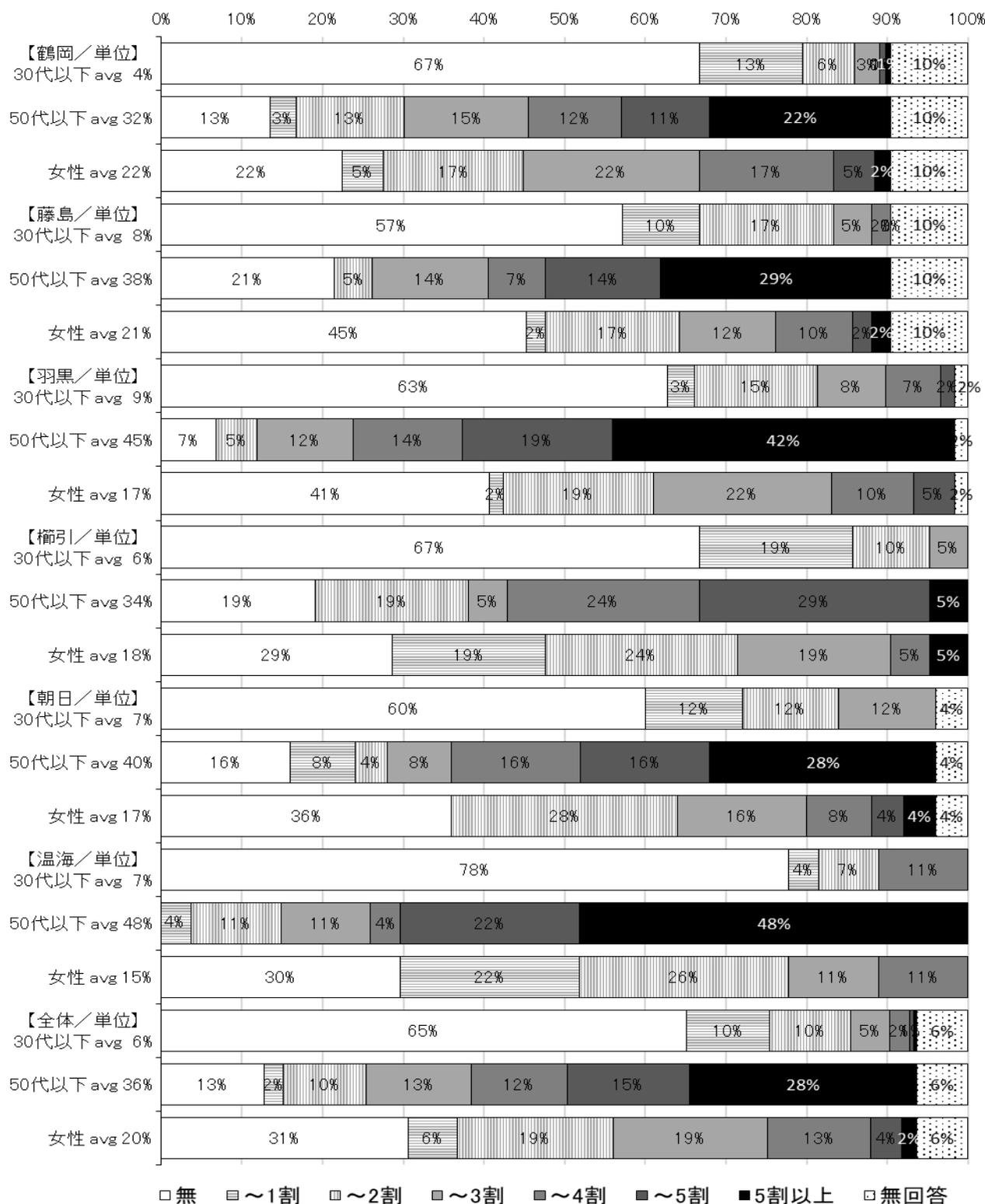
5段階評価

- 項目Ⅰ 住民同士の対話（話し合い）を積極的に行った
- 項目Ⅱ 地域活動への参加者が前年よりも増えた
- 項目Ⅲ 子どもが活躍できる環境づくりを促進した
- 項目Ⅳ 組織間の連携や地域外交流を促進した



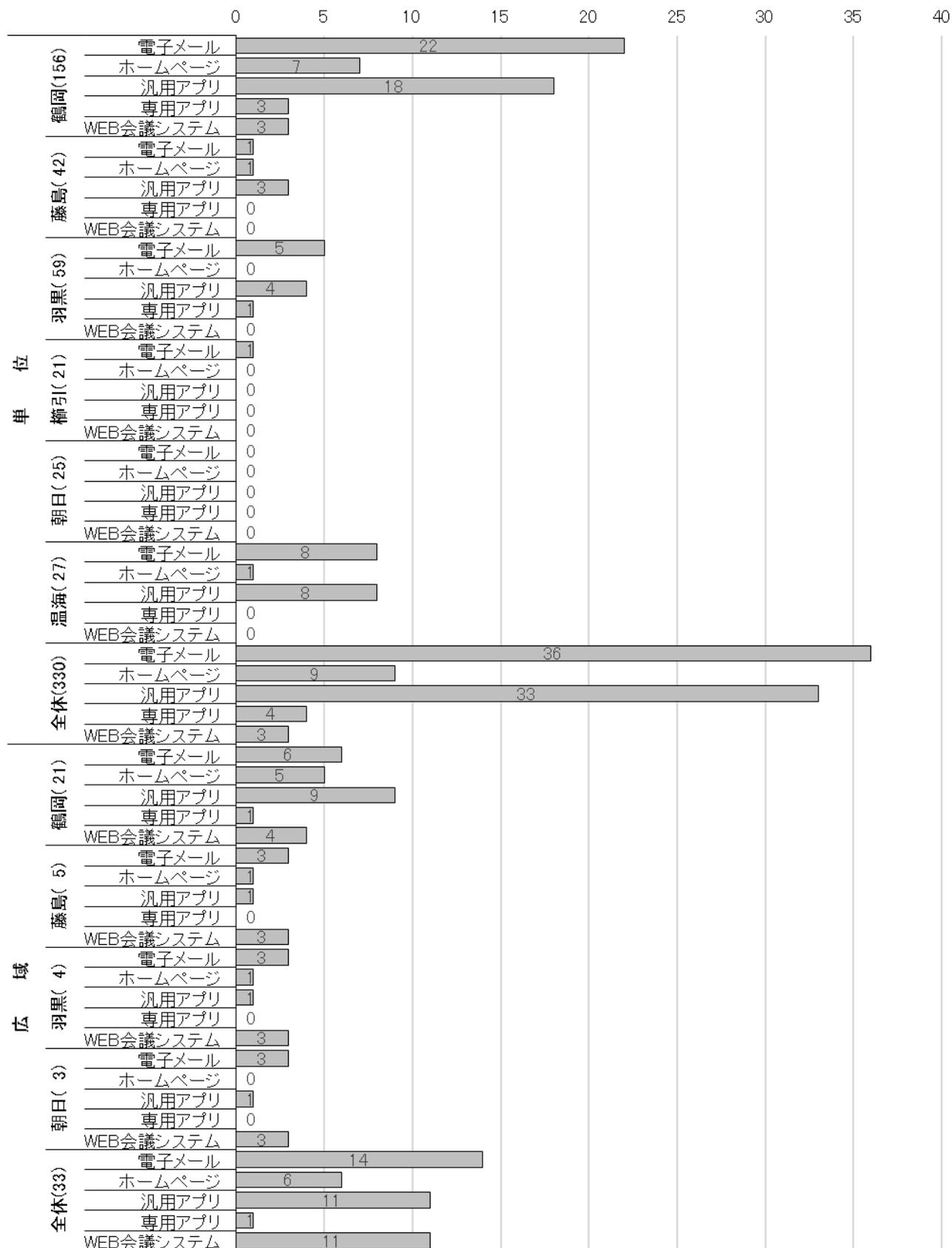
5段階評価の回答割合（R3 単位自治組織）

役員構成



若手（30代以下、50代以下）・女性が役員に占める割合（R3 単位自治組織）

デジタル化の推進



※括弧内の数値は、回答いただいた組織数。

デジタル化の推進状況（各種デバイスを利用している組織数、単位自治組織・広域コミュニティ組織）

■自由記述から一部抜粋（単位自治組織）

- ・町内会 Facebook の継続。
- ・ICT 健康教室を開催（健康教室会場を Zoom でつないだ）。
- ・子供会や青年部は LINE を利用。個別には電子メールなどで使い分けしている。
- ・デジタル化について、育成会等若い人たちの団体内では活用されているが、自治会組織内では、まだまだ時間を要する。
- ・メールで連絡を呼び掛けているが、反応して参加する人は少ない。
- ・LINE や自治会町内会 SNS 「いちのいち」等を使って情報の発信や交換を行いたい。
- ・スマホ教室を開催し、地域住民がスマホを少しでも使えるようになってもらいたい。
- ・町内会で各種設備を整備したいが補助などあればと思う（プロジェクター、Wi-Fi、防災用品等）。
- ・自治会では有線放送で対応している。

■自由記述から一部抜粋（広域コミュニティ組織）

- ・広域コミュニティ組織の連合組織や市担当課、市社協等とは、オンライン会議を行った。
- ・公式サイト、Twitter、LINE で情報発信したほか、新しいツール（グループワークやオンライン会議）を導入し、コロナ禍でも業務を継続できる体制づくりを行った。